令和７年度　授業計画

ビジネス情報科・ビジネス科　２年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教　科　名	地理歴史	科　目　名	歴史総合　　（２単位）
使用教科書	わたしたちの歴史 日本から世界へ（山川出版）	副教材等	新詳歴史総合（浜島書店） わたしたちの歴史ノート（山川出版）

１　科目のねらい（目標）

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を近現代の歴史の変化に関わる事象を多面的・多角的に考察することで育成する。

２　科目・授業の内容と進め方

基本的な知識や歴史用語を確認し、人物や出来事などのエピソードを取り混ぜながら、世界の歴史の理解を踏まえて、現代の人類が直面する課題を政治、経済、社会、文化、宗教、生活など様々な観点から考察できるように授業を展開していきます。

授業内容の確認としてプリントでの作業を実施し、知識の定着を行いながら、５０分間講義のみにならないように留意して、生徒一人一人の自主的活動ができるように授業を展開していきます。

定期考査は、歴史的用語の理解と定着、授業の中で作業的に行うプリントなどから、自ら考察できるような問題を出題します。

３　学習の方法

・授業を大切にして、授業の中で理解し吸収できるように集中して聞き、ノートをとりましょう。
・レポート提出や定期考査に向けて、日ごろからノートの整理をしましょう。
・時事的事柄の過去について、「どんな歴史があるのか」と常に疑問を持つように心がけましょう。

４　課題・補習について

・定期的にレポート課題を課します。
・定期考査後、理解が低い場合、追試などの補習を行います。

５　観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、説明したり、それらを基に議論している。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとしている。

ビジネス情報科・ビジネス科　２年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合（２単位）

６　年間の学習計画

月	単　元　名	学　習　の　内　容	評価方法（課題等）
4	歴史の扉 第１部　近代化と私たち １　１８世紀の世界とアジア ２　産業革命 ３　アヘン戦争と日本 ４　日本の開国 ５　日本開国期の国際情勢 ６　開国後の日本社会	歴史と私たち・歴史と資料 ①交通と貿易　②産業と人口　③権利意識と政治参加や国民の義務 ④学校教育　⑤労働と家族　⑥移民 １８世紀のアジアの経済　琉球と蝦夷地 産業革命と社会の変化　アヘン戦争 日本の開国と世界各地の戦争・反乱　開国後の日本経済	授業態度 ノート記入 プリント作業 レポート **前期中間考査**
5 6	７　市民革命と国民統合 ８　明治維新 ９　富国強兵と文明開化 １０　日本の明治初期の外交 １１　大日本帝国憲法の制定 １２　日本の産業革命と日清戦争 １３　帝国主義 １４　日露戦争と韓国併合	市民革命と自由と平等　国民国家と多民族国家 明治維新　明治新政府の政策 富国強兵　文明開化 岩倉使節団　近隣諸国との関係 自由民権運動　大日本帝国憲法 日本の産業革命　日清戦争 第２次産業革命　帝国主義 日英同盟と日露戦争　韓国併合　辛亥革命	
6 7	第２部　国際秩序の変化や大衆化と私たち １　大衆運動のめばえ ２　第一次世界大戦 ３　第一次世界大戦と日本 ４　ロシア革命とその影響 ５　社会運動の広がり ６　国際協調 ７　アジアの民族運動 ８　大量生産・大量消費社会	日露戦争後の日本の政治や外交　政治と大衆 第一次世界大戦の背景と内容 大戦景気　戦後恐慌 ロシア革命とソヴィエト社会主義共和国連邦 日本における普通選挙の実現と社会運動 ヴェルサイユ体制　ワシントン体制 アジア各地の民族運動 大量生産・大量消費社会　日本における都市のくらし	授業態度 ノート記入 プリント作業 **前期期末考査**
8 ・ 9	９　世界恐慌 １０　独裁勢力の台頭 １１　日本のアジア侵出 １２　第二次世界大戦 １３　第二次世界大戦と日本 １４　第二次世界大戦の終結 １５　戦後国際秩序 １６　冷戦の始まり １７　日本の戦後改革と日本国憲法 １８　日本の独立	世界恐慌と各国の経済政策 ファシズム　日中戦争 第二次世界大戦 太平洋戦争　日本の戦時中の生活 日本の敗戦　第二次世界大戦の被害 国際連合　ブレトン＝ウッズ体制 冷戦の開始　アジアにおける冷戦 ＧＨＱによる日本占領　日本国憲法の制定 サンフランシスコ平和条約	授業態度 ノート記入 プリント作業 **後期中間考査**
10 ・ 11 12	第３部　グローバル化と私たち １　第三世界の登場 ２　冷戦の固定化と「雪どけ」 ３　冷戦の展開 ４　５５年体制と安保闘争 ５　高度経済成長の光と影 ６　ベトナム戦争とアメリカ ７　経済構造の変化 ８　日本の経済大国化	第三世界　イスラエルとパレスチナ戦争 冷戦構造の固定化　雪どけ ソ連と中国の動向　スエズ戦争 ５５年体制　新安保条約と安保闘争 高度経済成長　大衆消費社会の誕生 ベトナム戦争　公民権運動　沖縄返還 ニクソン＝ショック　石油危機 安定成長から経済大国へ　貿易摩擦　バブル景気	授業態度 ノート記入 プリント作業 レポート **学年末考査**
1 2 ・ 3	９　アジアの経済成長 １０　社会主義の停滞と新自由主義 １１　冷戦の終結 １２　冷戦後の地域紛争 １３　地域統合 １４　現代世界の諸課題 １５　日本の諸課題	NIES と ASEAN　改革・解放政策　南北問題と南南問題 社会主義の停滞　新自由主義の台頭 冷戦の終結　ソ連の解体 冷戦後の地域紛争　国際社会における日本の役割 EU の発足 食糧問題と人口　地球環境問題　感染症と国際社会 平成不況　外交と安全保障　自然災害や環境問題への対応	